

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ高砂		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 5日		～ 令和8年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 5日		～ 令和8年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員体制の充実。 非常に質の高い職員が揃っており、児童数に対する配置人数も多いので、1人1人の児童に対して手厚い支援・療育を行う事が出来ている。	多彩なイベントを考案し、毎週オンラインによる各事業所の連帯感や交わりを考えるライブ番組を行っている。どんたくやボランティア、体育大会の実施や、大濠公園の花壇にて植物の種植えから水やりなど成長の見守り等も行っていきます	児童の変化(成長、課題、精神状態など)に対する気付きも広い範囲で、かつ素早く拾えているが、更にこの部分は強化できるので、日々の情報交換をしっかりと行い、全職員間で共有し、個々の職員が持っている理解度や内容に齟齬が無い様に努めていく。
2	年齢や成長に応じた対応を行っている事。 その例として、中高生を専門とした施設を設立している事。 また、各事業所に中高生の専用部屋を用意している事で、年齢や成長に応じた専門性を導入している。	自立を目指したトレーニングを実施している事。 早くから移動支援(バスの乗り方等)について着目したり、食育や発表の場を設けて、自立性を育てている。	大きな発表の場(どんたく演舞台等)に全施設合同で参加する事で、児童達へ日々の練習の積み重ねの大切さを学ばせたり、集団活動への参加の足掛かりを作る事が出来ている。緊張感の高まる状況での発表となる為、終えた後の自己肯定感を大きく向上させる事ができる。
3	勉強会の実施。 臨床心理士の先生による勉強会、相談会の実施。 外部の専門家から保護者、児童の相談対応、スタッフの指導等を毎月行っている事。	定例会議の内容の充実。 毎月全職員で行う定例会議を開催している。各職員の知識の底上げができる事、事例に対するディスカッションをしっかりと行える事で、日々の療育支援の質の高さに繋がっている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ありません。	ありません。	ありません。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価アンケート

事業所名	たけのこクラブ高砂
------	-----------

公表日2026/3/15

利用児童数42名

回答数15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81%	0%	6%	13%	・広く使えており迎えに行った際に子供達がダンスなどをしているのを見ました・運動や産作業のスペースが分かれており活動しやすい環境です・見学の時に見た以降来所の機会が無いので分からない・もう少しスペースと採光があればと思います。	活動スペース等がしっかりと確保できる様に環境整備をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94%	0%	0%	6%	・いつも来所した際、先生が多く居て安心します・支援員の方が多く居らっしゃると思います・見学の時に見た以降来所の機会が無いので分からない	今後も人員を多く配置し、十分な配置数を保っていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	・低学年の子供達にも分かりやすい様に文字等にフリガナがあり配慮されています・体を使う遊びと工作などの作業の場所が分かれているのを見ました	児童の安全を最優先に考えつつ、あらゆる特性、症状の児童に対応できる空間を作っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	88%	6%	0%	6%	・マット等が敷いてあって安全に安心して過ごせる空間だと思います・見学の時に見た以降来所の機会が無いので分からない	マット等の消毒、清掃は念入りに行っており、清潔な空間の中で児童が楽しく安全に過ごせる環境を目指しています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・困り事や悩み等の相談をする事がありますがよく見てくれているなと感じます	子ども1人1人に対し深い理解をしていく事に努めており、その上での支援を行っていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・そう思います	公表する内容と実際行う内容は齟齬が無い様に支援を行なっていますので、今後も尽力していきます
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	・わが子に必要な内容がしっかりと反映されている・そう思います	個別支援計画を作成するに当たり、事前の入念なアセスメントを元に行っています。ニーズ等の確認、客観性の担保も職員と協力し確立しておりますのでご安心ください。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	・家庭での悩みにも寄り添ってくれるので親の気持ちとしても助かっている・わが子に必要な内容がしっかりと反映されている	・項目と、それに準ずる具体性のある内容を遵守できる様に、日々吟味、選定し設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	・支援のおかげで日々成長していると思います。	放課後等デイサービス計画に基づいた支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・様々な活動を通して社会性が学べて良いと思います。	バス、電車に乗る際の移動支援や料金の支払い方法の練習等も行っております
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	88%	6%	0%	6%	・どんたくなどで別の出演者の方（子連）と交流し挨拶などしっかりと出来たと聞きました	地域のイベント（どんたく）は交流機会に最適なので参加しています
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	・契約の時に詳しく説明していただきました。・丁寧な説明が有りました。	しっかりと説明をさせて頂いています。その後も疑問などあればいつでもお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	・分かりやすく見ながら説明して頂きました・丁寧な説明が有りました。	しっかりと説明をさせて頂いています。その後も疑問などあればいつでもお問い合わせください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88%	6%	0%	6%	・療育会という形で臨床心理士の先生との相談会があります	臨床心理士の先生による相談会ご家族の方も参加でき、直接お話が何う事ができます。毎月の開催をしています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・送迎時の口頭でのやり取り、お電話など伝えて頂いています	保護者様と共通認識を持ち同じ方向性で支援していけるように努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	87%	13%	0%	0%	・電話で相談することがあるが丁寧に時間を取って話してくれる	モニタリングや担当者会議以外にも、必要に応じて面談を行い相談に乗っております。臨床心理士の先生による相談会も毎月行なっておりますので、いつでもご相談に乗れる体制を整えております
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%	・話をよくしてくれるスタッフさんは特にそう思います	全職員で同じ方向性、共通認識を持って療育支援に取り組んでおります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67%	13%	0%	20%	・どんたくに出演した際に各家庭のお母さんお父さん達と交流ができました	行事による保護者様同士の交流機会を設定しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%	6%	0%	0%	・素早く対応していただいています。 ・支援のために寄り添って頂いています	随時相談には親密に相談できる体制を整えております。1人1人の人生に携わっている意識を持ち、支援者としての責任・義務を果たすべく日々努めております
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	6%	0%	0%	・はい、そう思います。	相談しやすい環境、相手である事は非常に重要だと考えております。出来る限りの配慮を考え対応をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	94%	6%	0%	0%	・カレンダーをいつも見えています・毎月予定表で行事を確認しています	毎月行事予定を配布しており、定期的にHP上で様々な情報を発信しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・きちんと情報管理をしていただいていると思います	管理者の許可なく閲覧できない鍵付き棚での書類管理、及びパスワード入力が必要な電子媒体の管理など細心の注意を払い管理しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%	6%	0%	0%	・定期的にスケジュールに避難訓練が入っています	各マニュアルの作成の徹底をしております。訓練は定期的に行なっており、都度周知をさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	87%	0%	0%	13%	・地震や水害などに備え、避難訓練が行われています。	地震・水害・火災などあらゆる非常災害に備えた訓練を定期的開催しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	6%	0%	6%	・飛び出し防止のドア等確保されています。・安全性の確保された支援をしてくれています。・公開時などの安全対策の話をしっかりと聞いています	安全性を確保できる計画の作成や周知の徹底、内容の吟味を徹底できています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・発熱や嘔吐などが出た時にもすぐ連絡して頂き助かっています	事故・怪我・体調不良などあらゆる不測の事態が起きた際は、迅速に保護者に対してご連絡・報告をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・楽しみに通所していると感じます	児童の安心感の確保は重要な職務だと認識し、精神面の負担を軽減する役割も担えるよう日々尽力しております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	94%	6%	0%	0%	・友達に会える事を楽しみにしています。	児童自身の楽しみや嬉しさの中で成長に繋がる支援を心がけています
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	6%	0%	0%	・いつもありがとうございます ・はい、今後も宜しくお願い致します	児童様、保護者様の両輪でご満足いただける療育支援が出来る様に尽力しております。今後も最大限努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	たけのこクラブ高砂
------	-----------

公表日

令和8年 3月15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・こどもの利用状況に応じて適切に対応している・利用人数に応じてスペースを分け安全に活動出来る様にしている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・職員の配置が手厚く体制が整っている・定員に対し適した職員数を配置している・日毎の児童数に応じて対応しています・その日の児童数に応じて支援者が少ない日が無い様になっている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・学習、食事、遊びの空間が分かれ自由に使えている・こどもが利用しやすい工夫・個々の情報共有をしている・飛び出し防止ドア等が設置されてある。・こどもが活動する内容によりスペースを確保し活動し易い様にしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・清潔に心地よく過ごせるよう空間作りをしている。・毎日、掃除、アルコール消毒をしている。子どもを迎えに行く前にも必ず室内清掃を行い清潔な空間を確保している・掃除機アルコール消毒を毎日行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・こどもがそれぞれ利用しやすいよう空間作りとスタッフの配置をしている・集中できる様に学習室がある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・社員と意思疎通が取りやすい環境である・毎日小ミーティングを行っている・その日の出来事を振り返りそれぞれ意見を出し合っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者からの意見を共通し支援に活かせるようにしている・毎年評価表を取りまとめ公表している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・会議のみならず振り返りを行っている。・スタッフ同士常に情報等、業務改善に繋げている・月一回の定例ミーティングを通してそれぞれの児童の対応について話しています・定期的な会議で意見交換の機会が設けられている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	臨床心理士の先生による療育会でその機会がある。・療育会を行なっている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・確保されている。・臨床心理士の先生による療育会研修等の参加。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・月間プログラムを作成し、活動の内容や狙いを明確にしています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・月一回この内容を踏まえて話し合うミーティングがある・児童の状況に合わせて計画を立てている
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・ミーティング等で社員からの的確な指示があり最善の対応が実施できている・支援に関わる職員が会議で意見交換をし、計画を作成しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・常に見ることができるようノートにまとめられている点・計画を職員間で共有し統一した支援を行っている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・行動を観察しながら、共有している点。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・しっかりと必要な領域を選定し、項目を決定している。・支援内容も常に具体性のあるものになっている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・チームで行っている。・活動プログラムを職員間で話し合い、子どもの状況など共有し内容を検討しています・スタッフみんなで協力しあっている。・社員からの指示が的確に指示されている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・常に子どもに合ったプログラムを作成している・スタッフの意見を取り入れている点・毎月様々なイベントを取り入れている・子ども達の発達状況に応じて活動内容を見直し、工夫しています
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個別、集団活動共に計画、作成、支援している。・一人一人の状況に合わせてバランスよく行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前に朝礼を行い活動内容や当日の流れの確認を行っている・支援開始するまでに確認して支援に繋げている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・支援終了後に一日の振り返りを行い気付きを共有している・終了後はスタッフ間で話し合い、気付き等共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・支援検証・改善へつなげている・個別記録を作成し気づきや課題を整理しています・日々の支援内容を記録しよりよい支援が出来る様に振り返っている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的にモニタリングを行い計画の適切な見直しを行っている。

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%	0%	・ガイドラインに沿った支援を行っている。・4つの基本活動を必ず組み合わせて実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・意見や気持ちを尊重し自己決定を促す支援を行っている・こどもが自己選択・決定が育つよう支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・社員の方がしっかり行っている・子どもと関りが深く、より精通した者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・協力医療機関もしっかりと設けており、常に外部と連携できる状況を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・必要な内容は学校と情報共有を行いながら支援している・行事予定、下校時間の確認を行い変更がある際は随時共有しています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・必要性がある場合は互いに情報共有を行い、共通認識が持てるように努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・必要に応じて情報を提示したり、担当支援員に伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	94%	6%	・必要性に応じて連携の機会を設けている。	職員への説明が足りてない部分があったので今後は周知していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	・適切に交流、活動を設けている。・どなたか時に他出演者の方と交流する事がある	当日不在の職員にもしっかりと周知していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・以前必要性に応じて参加する事があった	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々の様子を連絡帳等を通して共通理解を図っている・その日の様子を送迎の際に伝えている・共通理解が持つように子どもの状況を伝えあっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・臨床心理士の先生による療育会の開催を毎月行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・しっかりと管理者が説明を行っている	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者の意見や要望、子供の気持ちを考えたものを作成していると思います	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・計画内容を丁寧に説明し保護者の理解を得られるようにしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・社員がモニタリングなどを行っている・保護者の相談は丁寧に必要に応じて助言している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	どなたくに全施設で参加する事により、保護者同士の交流の機会を作っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・事例に対して職員間で共有し適切な対応を行っている・何かあった際は速やかに職員間で共有をし場面にあった対応をしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・行事予定や活動の詳細を定期的に保護者に渡している・予定表として連絡ツールを活用し情報提供を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報情報は施錠できる場所で保管し職員間でも守秘義務を徹底しています・個人情報の管理を徹底している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・特性に応じた伝達情報を工夫している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	87%	13%	・どなたくに参加し、地域住民の方も一緒に楽しめる行事になっている。	・必要に応じて地域と交流する機会を設けていきたいと思っています。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・緊急時に備えて様々なマニュアルを作成している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・定期的に訓練を行っている。火災、水害、地震など。業務継続計画を作成し、それに順ずる内容で定期的に訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・利用開始時に服薬状況や発作の有無を確認している・スタッフ間で共有し、マニュアルが分かりやすい場所に置かれている・利用前に健康状態を把握している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・利用時にアレルギーに対応している。・個人個人の情報に基づいて対応している・事前に確認し安全に配慮し対応している	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全である様に定期的に避難訓練や安全確認を実施しています
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・契約の際しっかりと説明し、変更がある際は周知を徹底している。また別途質問があれば回答している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・二重チェックを行うなどしている点・情報を基に情報共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・職員間で理解を深め早期発見、対応出来る様に心掛けています
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・やむを得ず身体拘束が必要な場合支援管理者のもと行動しています・危険時は手を繋ぎ安全確保している・児童の安全確保の為やむを得ない場合に限り組織的に判断されている